りに200億円を下回る

前年度比4.2%減

歳入

●要となる町税（過去最高）

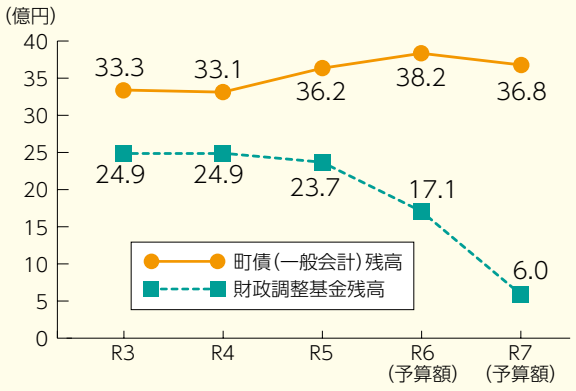
93億7040万円（前年度比5.9%増）

法人町民税増、固定資産税増によるもの

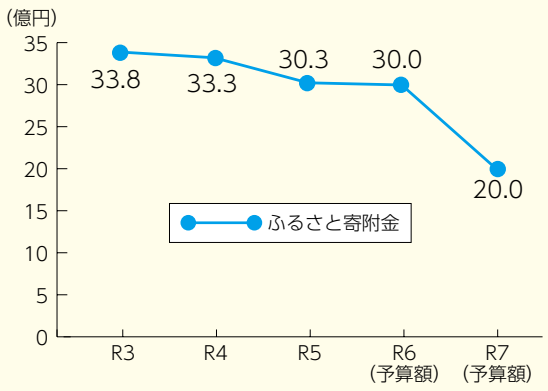
●ふるさと寄附金

20億円（前年度比33.3%減）

■基金（貯金）残高・町債（借金）残高の推移



■ふるさと寄附金の推移



➡4ページ参照

■予算特別委員会での各会計別の当初予算と採決状況

会計区分		予算額	前年度比（%）	採決の状況（1人欠席）
一般会計		198億3000万円	▲4.2	反対1：賛成12で可決
特別会計	土地取得	4億 264万円	189.9	全員賛成で可決
	国民健康保険	32億8453万円	0.9	反対1：賛成12で可決
	後期高齢者医療	6億9149万円	2.2	反対1：賛成12で可決
	介護保険	26億4821万円	3.5	反対1：賛成12で可決
水道事業会計	収益的支出	8億5357万円	2.9	全員賛成で可決
	資本的支出	4億4495万円	▲25.0	
下水道事業会計	収益的支出	14億2329万円	▲13.1	全員賛成で可決
	資本的支出	7億5102万円	2.7	
合計		303億2970万円	▲2.6	

※予算特別委員会は議長を除く15人で構成され、委員長は賛否に加わることができません。（賛否同数の場合は除く）

令和7年度 一般会計予算

コロナ交付金が終わり３年ぶ

198億3000万円

Pick up!

歳出

安心して子どもを育てられる

●**第2子　3歳未満児は保育料無料!!**

678万円

●**3～5歳児の在宅子育てを応援!!**

59万4000円

お年寄りまでみんなが元気

●**高齢者生きがいセンターの引っ越しなど（高齢者生きがいセンター運営事業）**

3億5311万6000円

➡5ページ参照

賛成

住民への気配り予算実行を

黒木　一　議員

令和7年度一般会計予算は、２００億円を下回る予算。幸田荻谷土地区画整理事業や、坂崎地区の福祉ゾーンの開発など、非常に町民目線で組み立てられており、賛成する。

幅広い世代にわたる福祉事業を

廣野 房男 議員

令和7年度当初予算では、福祉事業に手厚く配分され、乳幼児から高齢者まで将来を見据えた事業も盛り込まれ、安心して幸田で暮らせる基盤造りを、更に進めていって欲しい。

将来を見据えて考えた事業推進を

長谷川 進 議員

令和7年度一般会計予算が減少する中で、先人たちが編み出した企業立地推進事業と、寄附金を利用した、ふるさと納税推進事業で、町税増収の基本しくみを守り、新事業推進に期待する。

反対

大型事業など見直し町民福祉の増進を

丸山 千代子 議員

町税収は過去最大を見込むが、ふるさと寄附金の落ち込み、要望一律10％カット、財政調整基金で穴埋めは財政破綻が危惧される。大型事業や不要不急は見直し、町民福祉増進を第一に。

討論